

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和3年度

施策コード	711	施策	産業振興と創業支援
管理事業	農業振興事業	所管部局	都市魅力部

1	所管 室課	地域経済振興室	事業名	大阪府農業共済組合負担金事業		
事業概要						
大阪府農業共済組合負担金						
活動実績		年度	R2	R3	評価の視点	
・大阪府農業共済組合負担金 455,781円		決算額（千円）	539	456	※課題があるものは■	
		一般財源の比率（％）	100.0	100.0	☐ 市民ニーズ、社会的役割	
		事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題			☐ 有効性	
		年々、農地及び加入農家は減少しているが、農業経営を支援し農地を保全するために、今後も継続すべき事業である。			☐ 効率性	
					☐ 公平性	
			■ 持続可能性			
			今後の実施計画の方向性・内容			
			継続			

2	所管 室課	地域経済振興室	事業名	農業振興事業	
事業概要					
花とみどりふれあい農園、市民農園関係、農作業体験、地産地消の推進					
活動実績		年度	R2	R3	評価の視点
(1) 花とみどりふれあい農園 ・作付農家数 37戸、開花面積 44,215㎡、開花率 73.1%		決算額 (千円)	3,242	3,663	※課題があるものは■
		一般財源の比率 (%)	100.0	100.0	☐ 市民ニーズ、社会的役割
(2) 市民農園 ・18農園、総区画数 685区画 ・栽培講習会は新型コロナウイルス感染症拡大防止対策により中止		事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題			☐ 有効性
		花とみどりのふれあい農園は農地保全の面で有効だが、農地面積減少に伴い、申請数も減少傾向のため周知方法の工夫等、新規申請の確保が必要である。また、市民農園ニーズは高いが飽和状態であり、区画数確保のため農家へ新規開園の働きかけが重要である。 農作業体験事業の委託先である吹田市農業振興研究協議会の農家をはじめ高齢化による担い手不足が今後の課題である。農作物品評会や朝市等の販売会を開催し、鮮度等の付加価値のある農産物供給ができる都市農業の魅力を発信し、農業者の意欲向上を促して担い手確保に結び付けていく。			☐ 効率性
					☐ 公平性
(3) 農作業体験 ・ふれ愛農園、芋ほり体験及び学童農園の各事業について、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策により中止					■ 持続可能性
					今後の実施計画の方向性・内容
(4) 地産地消の推進 ・農作物品評会を令和3年11月16日に開催（出品数 29品） ・販売会を実施 江坂朝市を6回（4・7・10～12月及び3月）開催 （新型コロナウイルス感染症拡大による影響で年12回から6回へ減少） ハビスマ朝市を1回（12月）開催 「健都ライブラリー1周年記念イベント」として朝市を2日間（11/13・14）開催					継続

	所管 室課	事業名			
事業概要					
活動実績		年度	R2	R3	評価の視点
		決算額（千円）			※課題があるものは■
		一般財源の比率（％）			☐ 市民ニーズ、社会的役割
		事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題			☐ 有効性 ☐ 効率性 ☐ 公平性 ☐ 持続可能性
					今後の実施計画の方向性・内容

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名